

平成 31 年度
沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科
(後期博士課程)
学 生 募 集 要 項

◇出願期間

平成 31 年 1 月 21 日(月)～25 日(金)

※1 月 25 日郵送発信局消印有効

◇試験日程 平成 31 年 2 月 28 日(木)、3 月 1 日(金)

◇合格発表 平成 31 年 3 月 5 日(火)

◇入学手続

平成 31 年 3 月 8 日(金)～3 月 14 日(木)

※受付時間：午前 10 時～午後 4 時

郵送の場合は 3 月 14 日(木)午後 5 時までに必着のこと

平成 30 年 8 月
沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1 - 4

電 話 098-882-5058

<http://www.okigei.ac.jp>

目 次

I. 募集人員	1
II. 出願資格	1
III. 選抜方法等	1
別表1（造形芸術）	2
別表2（音楽芸術）	3
IV. 試験日程・集合時間・場所・試験会場	4
V. 出願手続	5
VI. 出願書類	5
VII. 合格者発表	6
VIII. 入学手続	6
IX. 入学試験問題の公表	7
X. 入試情報開示請求について	7
XI. 外国人志願者に対する取扱い	8
XII. 大学院案内	9
芸術文化科学研究科の三つのポリシー	10
XIII. 専攻案内	10
研究室一覧	12
芸術表現研究領域担当教員候補者一覧	13
※地 図	
※入学願書等提出書類	綴込

平成 31 年度沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科学生募集要項

I 募集人員

専攻……………芸術文化学専攻

募集人員……………3人

II 出願資格

- (1) 平成 31 年 3 月修士課程（博士前期課程）修了見込みの者
- (2) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、学校教育法施行規則第 70 条の 2 第 3 号の規定により文部科学大臣が指定したものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 学校教育法施行規則第 70 条の 2 第 4 号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、24 歳に達したもの

※ 上記 (7) の適用を受けようとする者は、個別の入学資格審査について、平成 30 年 11 月 30 日（金）までに教務学生課へ申し出ること。

III 選抜方法等

入学者の選抜にあたっては、提出論文、提出作品、研究計画書、実技試験、筆記試験、口述試験及び成績証明書、履歴書等の各資料を総合的に判定する。

1 比較芸術学研究領域・民族音楽学研究領域

【提出論文】修士論文、または修士論文に代わる研究論文。400 字詰原稿用紙 30 枚以上に相当する分量であること。

＊ 論文要旨（2,000 字以内）を添えること

＊ 出願書類と一緒に提出すること

【筆記試験（語学）】英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／中国語／日本古文・漢文／琉球語 以上の 7 科目より 1 科目を選択すること。（語学辞書持ち込み可、電子辞書は不可）

【口述試験】提出された修士論文、または修士論文に代わる研究論文、および研究計画書等をもとに行う。

＊ 研究計画書（2,000 字程度）は口述試験当日に持参すること。

2 芸術表現研究領域

ア. 造形芸術

【提出作品】別表 1 を参照のこと。

【小論文】研究分野や提出作品に関する学術的論考。A4 用紙を用い、4,000 字以上に相当する分量であること。修士論文、副論文等をもって代えることもできる。

【筆記試験（語学）】英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／中国語／日本古文・漢文／琉球語 以上の 7 科目より 1 科目を選択すること。（語学辞書持ち込み可、電子辞書は不可）

【口述試験】提出作品、小論文、および研究計画書等をもとに行う。

＊ 研究計画書（2,000 字程度）は口述試験当日に持参すること。

研究 領域	研究室	研究分野	小論文		作品等	
			日時・場所	内容・方法	日時・場所	内容・方法
芸術表現	造形芸術	工芸	提出小論文は、出願書類と別便で郵送すること。封筒の表に「芸術文化学研究科入学試験提出小論文」および「芸術表現研究領域」と朱書すること。 平成 31 年 1 月 21 日(月)～25 日(金) (上記期間の郵便局消印のあるもの。) 〔提出先：教務学生課〕	これまでの制作・研究をふまえ、研究テーマについて、現段階での問題意識に基づき、文献や資料を調査の上、論考する。 A4 用紙 4,000 字以上	平成 31 年 2 月 28 日(木) 10:00～15:00 提出先： 首里崎山キャンパス 工芸棟 陶芸学科室 Tel 098-882-5061 染織学科室 Tel 098-894-6255	(1) 作品 志望分野の作品 3～5 点(2 年以内に制作したものに限る。) (2) ポートフォリオ A4～A3 サイズ 1 冊
		デザイン			平成 31 年 2 月 28 日(木) 10:00～15:00 提出先： 首里崎山キャンパス デザイン棟 デザイン学科室 Tel 098-882-5072	(1) 作品 志望分野の作品 3～5 点(2 年以内に制作したものに限る。) (2) ポートフォリオ ・ A4～A3 サイズ 1 冊 ・ 映像資料の提出も可
		絵画			平成 31 年 2 月 28 日(木) 10:00～15:00 提出先 首里当蔵キャンパス 美術棟 絵画学科室 Tel 098-882-5049	(1) 作品 志望分野の作品 3～5 点(平面作品は、250 cm×200 cm以内とし、それ以上の場合は分割できる画面であること。 平面以外の作品は横 250 cm×縦 200 cm、奥行き 200 cmの範囲内でまとめてプレゼンテーションできる作品を提出。何れも 2 年以内に制作したものに限る。) (2) ポートフォリオ A4～A3 サイズ 1 冊
		彫刻			平成 31 年 2 月 28 日(木) 10:00～15:00 提出先 首里崎山キャンパス 彫刻棟 彫刻学科室 Tel 098-882-5046	(1) 作品 志望分野の作品 3～5 点(2 年以内に制作したものに限る。) (2) ポートフォリオ A4～A3 サイズ 1 冊

- * 提出作品及びポートフォリオには綴じ込みの提出作品等貼付用紙を貼ること。(適宜コピーして使用すること。)
- * 安全管理及び保健衛生上、支障のある作品は受理しない。
- * 作品等の提出及び引き取りは、必ず本人が行い、作品の搬出は 3 月 1 日(金)の口述試験終了後、翌日までとする。運送業者や大型クレーンを利用する等、特別な措置を必要とする場合も必ず本人が立ち会い、作品提出時に搬出計画について上記の各研究分野学科室に相談すること。

イ. 音楽芸術

【提出作品】（作曲のみ）別表 2 を参照のこと。

【実技試験】（作曲以外）別表 2 を参照のこと。

【小論文】研究分野や提出作品に関する学術的論考。A4 用紙を用い、4,000 字以上に相当する分量であること。修士論文、副論文等をもって代えることもできる。

【筆記試験（語学）】英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／中国語／日本古文・漢文／琉球語 以上の 7 科目より 1 科目を選択すること。（語学辞書持ち込み可、電子辞書は不可）

【口述試験】提出作品または実技試験、小論文、および研究計画書等をもとに行う。

＊研究計画書（2,000 字程度）は口述試験当日に持参すること。

実技試験課題曲等（芸術表現領域：音楽芸術研究室）

別表 2－1

研究 領域	研究 室	研究 分野	課 題 曲 等
芸術 表現	音楽 芸術	琉 球 古 典 音 楽	演奏時間 40 分程度の任意のプログラムを演奏すること。 ただし、プログラムの中に大昔節、地謡を含めることとする。 〔注意事項〕 ＊暗譜で独唱すること。 ＊地謡は立方を伴う。立方は受験者が同伴し、稽古着を着用すること。
		琉 球 舞 踊	演奏時間 40 分程度の任意のプログラムを演技すること。 ただし、プログラムの中に「諸屯」「高平良万歳」を含めること。 なお、創作舞踊を含めても良い。その場合は録音持ち込み可。 〔注意事項〕 ＊地謡は受験者が同伴すること（三線 2 名、太鼓 1 名）。 ＊稽古着（着流し）を着用すること。 ＊小道具は受験者が持参すること。
		組 踊	演技時間 40 分程度の任意のプログラムを演技すること。 ただし、玉城朝薫組踊作品「五番」から 1 演目と、「五番」以外から 1 演目を選択し、各役 2 名以上の所作と唱えを抜粋すること。 また、琉球舞踊の「女こてい節」、「波平大主道行口説」から 1 演目を選択すること。 〔注意事項〕 ＊地謡は、受験者が同伴すること（三線 2 名、太鼓 1 名）。 ＊稽古着（着流し）を着用すること。 ＊舞踊の地謡は受験者が同伴すること（三線 2 名、太鼓 1 名）。

時間の都合により、演奏・演技の一部省略、または中断を求めることがある。

別表2-2

研究領域	研究室	研究分野	課題曲等
芸術表現	音楽芸術	声楽	演奏時間 40 分～50 分程度の任意のプログラムを演奏すること。 〔注意事項〕 ＊歌唱は暗譜とする。 ＊伴奏者は受験者が同伴すること。 ＊演奏順は、受験曲目提出用紙に記入した順とする。 ＊前奏、間奏、後奏は省略することも可とする（カット箇所を記入の上、受験曲目の楽譜を出願時に提出すること）。
		ピアノ	演奏時間 60 分程度の任意のプログラムを演奏すること。 〔注意事項〕 ＊修士演奏で演奏した曲目一覧を提出すること。 ＊演奏は暗譜とする。
		弦楽器	ヴァイオリン又はチェロ 演奏時間 50 分～60 分程度の任意のプログラムを演奏すること。 〔注意事項〕 ＊ピアノ伴奏を必要とする場合は、伴奏者を同伴すること。
		管楽器	クラリネット、トランペット又はホルン 演奏時間 50 分～60 分程度の任意のプログラムを演奏すること。 〔注意事項〕 ＊ピアノ伴奏を必要とする場合は、伴奏者を同伴すること。
		作曲	3 点以内の作曲作品（修士作品を含めてもよい）を提出すること。作品の録音を添えてもよい。 提出先：事務局教務学生課 提出日：平成 31 年 2 月 28 日（木）9:00～16:00

時間の都合により、演奏の一部省略、または中断を求めることがある。

Ⅳ 試験日程・集合時間・場所・試験会場

平成 31 年 2 月 28 日（木）（芸術表現研究領域のみ）

ア．造形芸術

作品提出 提出先：別表 1 を参照のこと。

イ．音楽芸術

作品提出（作曲のみ）提出先：事務局教務学生課（9:00～16:00）

実技試験（作曲以外）

集合場所：管理棟ロビー 集合時間は後日連絡する。

試験会場：本学首里当蔵キャンパス

平成 31 年 3 月 1 日（金）（全領域）

本学首里当蔵キャンパス 管理棟 1 階ロビー 9:30 集合

筆記試験（語学） 10:00～11:30 本学首里当蔵キャンパス 一般教育棟 303 教室

口述試験 13:30～ 本学首里当蔵キャンパス 博士課程演習室 1
（福利厚生棟 2 階）

V 出願手続

(1) 出願期間

平成 31 年 1 月 21 日(月)～25 日(金) 9:00～16:00

(2) 出願方法

願書の受付はすべて所定の封筒を用い「書留郵便」による郵送に限る。なお、普通郵便及び直接持参は受理しない。

(3) 宛先 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

沖縄県立芸術大学教務学生課 電話 098-882-5058

VI 出願書類

(1) 入学願書………本学所定用紙に必要事項を記入すること。

(綴込用紙)

(2) 履歴書………本学所定用紙(願書裏面)に必要事項を記入すること。

(綴込用紙)

(3) 成績証明書………出身大学長または出身大学院研究科長が作成し厳封したものを提出すること。(ただし、本学大学院修士課程を修了した者、及び修了見込みの者は不要)

(4) その他の書類………県内居住者は入学料の額が軽減されるので、平成 29 年 4 月 1 日以前から県内に住所を有することを証明する本人か配偶者、又は一親等親族の住民票抄本を提出すること。

(5) 提出論文(比較芸術学研究領域・民族音楽学研究領域)

出願時に 1 部を提出すること。コピーも可。

* 提出論文は、出願期間内に願書類と別便で郵送すること。封筒の表に「芸術文化学研究科入学試験提出論文」および希望する研究領域名を朱書すること。

* 提出論文は、試験後に返却する。

* 提出論文は、日本語で書かれたものに限る。

* 提出論文の内容は、本研究科の研究領域に関わるものとする。

(6) 小論文(芸術表現研究領域)

出願時に 1 部を提出すること。コピーも可。

* 提出小論文は、出願期間内に願書類と別便で郵送すること。封筒の表に「芸術文化学研究科入学試験提出論文」および希望する研究領域名を朱書すること。

* 提出小論文は、試験後に返却する。

* 提出小論文は、日本語で書かれたものに限る。

* 提出小論文の内容は、本研究科の研究領域に関わるものとする。

- (7) 受験曲目提出用紙………本学所定の用紙に、実技試験の演奏等曲目と曲目ごとの演奏所要時間、及び総演奏所要時間を記入し提出すること。(芸術表現研究領域の実技試験受験者のみ)

＊声楽受験者は、カット箇所が記入された、受験曲目の楽譜を同時に提出すること。

＊ピアノ受験者は、修士演奏で演奏した曲目一覧を提出する

- (8) 研究計画書………本学所定の用紙に入学後の研究計画を詳しく書き、試験当日に持参すること。
(綴込用紙) (2,000 字程度)

- (9) 写真票・受験票………本学所定用紙に必要事項を記入し、写真を貼付すること。
(綴込用紙) (写真 2 枚 サイズ 4cm×3cm 上半身・脱帽・正面、出願前 3 ヶ月以内に撮影したもの。)

- (10) 出身大学院の修了証明書、または修了見込み証明書(本学大学院の修了者、修了見込者は不要)

- (11) 返信用封筒………本学所定の封筒に自己の受信場所、郵便番号、氏名を明記し、362 円切手を貼付すること。
(綴込用紙)

- (12) 入学考査料、領収書・領収書原符

ア 30,000 円(郵便局が発行する普通為替証書に限る)

イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。

ウ 綴込用紙の「領収書・領収書原符」の納入義務者欄に住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。

エ いったん納入した入学考査料は、いかなる理由があっても返還しない。

＊ 提出書類の不備なものは、受理しない。

Ⅶ 合格者発表

日 時 平成 31 年 3 月 5 日(火) 10:00

場 所 本学首里当蔵キャンパス管理棟 1 階ロビーに掲示及び本学ホームページに掲載
(合格者には文書で通知する。電話での問い合わせには一切応じない。)

Ⅷ 入学手続

日 時 平成 31 年 3 月 8 日(金) から 3 月 14 日(木)

10:00～16:00

書類を郵送する場合は、書留郵便(速達)とし、平成 31 年 3 月 14 日(木)までに必着のこと。(外国在住者については、詳細は教務学生課に問い合わせること。)

場 所 本学首里当蔵キャンパス 沖縄県立芸術大学教務学生課

入学料 県内居住者 282,000 円

その他の者 512,000 円

※ 入学料は、本学指定の納入通知書により、入学手続時までに最寄りの金融機関で納入し、領収書の写しを他の手続書類とともに提出すること。

注：県内居住者

ア 入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する者

イ 入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者
又は一親等の親族のある者

※ 現在、他大学大学院（後期博士課程）に在籍する者は、当該大学院を修了または退学したことを証する書類を添付すること。

授業料 年額 535,800 円（内訳 前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）
前期授業料は平成 31 年 4 月 30 日までに、後期授業料は同年 10 月 31 日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

※在学中に上記授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

入学料及び授業料の減免について

原則として大学院の学業成績の平均が 2.0（良）以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、審査のうえ全額免除又は 2 分の 1 減額することがある。

- 1 天災その他不慮の災害により、学費の負担に耐えられなくなった者
- 2 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- 3 前項のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

Ⅸ 入学試験問題の公表

入試問題（語学）は、過去 3 年間分を公表している。（詳細は教務学生課に問い合わせること。）

Ⅹ 入試情報開示請求について

沖縄県個人情報保護条例に基づき、一般選抜の入試結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができる。

（１）開示内容

当該年度入試の個人成績の総合計点を開示する。

（２）開示請求できる期間

平成 31 年 4 月 10 日（水）～平成 31 年 5 月 12 日（金）（午前 9 時～午後 5 時）

ただし、土・日・祝祭日等休業となる日は除く。

（３）開示請求の受付を行う場所

沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス事務局教務学生課

(4) 開示の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 開示請求に必要な書類

受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

(6) 開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、沖縄県のホームページを参照のこと。

X I 外国人志願者に対する取扱い

外国人で入学を志願する者の取扱いは、本要項に定める事項のほか、以下の定めによる。

◎出願資格

本学大学院の授業を理解でき、日本語による学位論文を執筆できる日本語能力を有すること

◎出願手続き

1. 願書受付

平成 30 年(2018 年)12 月 17 日 (月) から平成 31 年(2019 年)1 月 25 日 (金) まで受け付ける。

2. 出願書類

募集要項に定める書類 (5 ～ 6 ページに記載) のほか、以下の書類等を提出しなければならない。

(1) 日本語の能力を証明する書類 (日本語教育機関または日本語教育のコースを有する教育機関の長または担当教員が作成したもの。様式は自由。)

(2) 学費、生活費の負担能力を証明する書類

(3) 旅券の写し又は在留カード両面の写し

3. 入学考査料

入学考査料 30,000 円の郵便局が発行する普通為替証書 (指定受取人欄、払渡局欄など一切記入しないこと) または現金 (日本円) 書留で郵送する。

4. 入学手続

入学手続きの際に、在留資格 (「留学」) を記載した住民票の写しその他必要書類を提出する。

外国人志願者に対する取扱いについて不明な点は、教務学生課に問い合わせること。

電話 098-882-5058 F A X 098-882-5033

XII 大 学 院 案 内

建学の理念

日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容を持つものである。わけても沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、日本文化としてはもちろんのこと、沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材の育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。

県立芸術大学を建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあるが、そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。

我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がりを追究し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

**沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科の三つのポリシー**

■ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

芸術文化学研究科では、研究指導を受け所定の単位を修得し、博士論文等の審査及び試験に合格した学生には、博士課程の修了を認定し、博士（芸術学）の学位を授与します。

比較芸術学研究領域・民族音楽学研究領域における博士論文、芸術表現研究領域における博士論文及び研究作品・研究演奏は、1) その専門分野において高度な研究内容であること、2) 創造的、独創的な研究であること、3) その研究が国際的にも貢献できること等の観点から審査します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

芸術文化学研究科のカリキュラムは、芸術文化についての幅広い見識と、自立して研究活動を行うに必要な高度の能力を養うような教育を行います。博士（芸術学）の学位を取得できるよう、博士論文等の完成を目標とした研究指導を中心に据え、実技と理論との結びつきを重視した本学ならではの科目である芸術表現総合比較研究Ⅰを必修とし、その他複数の領域の科目を自由に選択するように授業科目を編成しています。

■アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

1 教育の理念

本学の基本的な理念は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、芸術文化学研究科は、実技との結びつきを重視した芸術文化に関する高度な理論と応用の教授研究により、芸術文化についての豊かな識見及び自立して研究活動を行うに必要な高度の能力を有する研究者を養成し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的としています。

2 本研究科の求める人材

芸術に関する基礎的な知識を備え、自立した研究者となるための意欲と能力と展望を備えていることを求めます。

3 入学者選抜の実施

2に掲げる人材を受け入れるため、専門的な学力試験、研究課題に関する口述試験を実施しています。

XIII 専攻案内

本大学院の芸術文化学研究科（後期博士課程）芸術文化学専攻には、比較芸術学と民族音楽学、芸術表現の三つの研究領域が設定しており、学生はいずれかの研究分野に属して研究指導を受け、必修科目として「芸術表現総合比較研究Ⅰ」、選択科目として8単位以上を履修し、博士論文等（博士論文、研究作品又は研究演奏）の審査に合格すれば修了することになる。

《比較芸術学研究領域》

■比較美学・芸術学の分野では、従来における西洋美学への偏重を反省しつつ、多様な美意識を体系的な見地から比較研究することによって、それぞれの特質および形成原理を解明することを主要な課題とする。とりわけ、芸術体験の価値構造の分析から導かれる諸契機により、東西の美意識を比較類型学的に解明することが目指される。

■芸術批評史の分野においては、作家による作品の歴史という従来ありがちな美術史学の研究方法の限界を反省しつつ、美術作品を生み出してきた思想的、歴史的な背景を厳密な史料の把握を通じて、いわば精神史としての美術史を人文科学の諸方法を用いて構築することが目指される。

■民族芸術文化学の分野では、諸民族における芸術と文化の役割について可能な限り実際のフィールドワークや実物資料、原資料に即して実証的研究を行う。例えば諸民族の工芸美術の比較研究、文学の比較研究、琉球の伝統芸能・伝統文化の研究、琉球史と世界各地の歴史との比較研究などを美術史学、歴史学、考古学、文学、文化人類学の諸方法を援用しつつ研究していく。

《民族音楽学研究領域》

■音楽史の分野では、琉球、日本、東洋および西洋の音楽について歴史的研究を行う。古文書古楽譜の分析解釈に加えて、今日まで伝承されている音楽を対象とする場合は、その音楽の実践に即した研究方法を探究する。

■民族音楽学の分野では、主に対象の中心を琉球の古典音楽に置き、琉球独自の言語表現による文学とも関わり、その音楽的構造や形態との関連を研究するとともに、あわせて琉球音楽の発展に寄与する諸民族の音楽を音楽構造の視点から研究する。

■民族芸能論の分野は、音楽を主体とする諸民族の芸能の総合的研究として、現在の音楽学に欠落している重要な分野である。民族芸能論が対象とする領域は、芸術的および民俗的な音楽をはじめとする舞踊・演劇および民俗芸能を包括し、とくに琉球の伝統的な組踊および琉球舞踊、および民俗芸能は研究の中核に構成する。

《芸術表現研究領域》

■造形芸術の分野では、芸術家、研究者、教育者などとして自立した活動が行えるよう、より高度な作品制作能力を培い、それを理論的に支える研究の方法を学ぶ。また、人間の知的文化的活動の一つとしての造形芸術の意味と役割について、作品制作と研究を通して伝える能力を身につける。

■音楽芸術の分野では、芸術家、研究者、教育者などとして自立した活動が行えるよう、より高度な舞台表現・作品制作能力を培い、それを理論的に支える研究の方法を学ぶ。また、社会・環境に根ざした表現活動としての音楽芸術の意味と役割について、舞台表現・作品制作と研究の両面から伝える能力を身につける。

研究室一覧（平成 30 年 8 月現在）

研究領域	研究室	教員	研究内容
比較芸術学	比較美学・芸術学	* 尾形 希和子	図像解釈学（西洋中世美術）
		喜屋武 盛也	美学（美学・芸術思想、近現代の美学・美学史）
		土屋 誠一	近・現代美術史、写真論
	芸術批評史	* 小林 純子	日本美術史（日本の近世・近代美術史、沖縄美術史）
		金 恵信	東洋美術史、アジア近現代美術史、表象文化論
	民族芸術文化学	* 波平 八郎	日本文学
		森 達也	アジア工芸史、アジア考古学、中国陶磁史
民族音楽学	音楽史	* 金城 厚 ※1	民族音楽学（音楽構造分析、沖縄音楽研究、琉球芸能史）
		高瀬 澄子	日本音楽史（古代・中世の音楽理論・音楽思想）
		向井 大策	西洋音楽史（近現代、20 世紀音楽、オペラ史、音楽美学）
	民族音楽学	* 金城 厚 ※1	民族音楽学（音楽構造分析、沖縄音楽研究、琉球芸能史）
		* 小西 潤子	民族音楽学（アジア・太平洋諸島の音楽）
	民族芸能論	* 久万田 晋	民族音楽学（日本・沖縄の民族音楽学、民俗芸能論、ポピュラー音楽研究）
		呉屋 淳子	教育人類学、民俗芸能研究（朝鮮半島、南西諸島）
芸術表現	造形芸術	* 平山 英樹 ※3	日本画
		波多野 泉 ※4	彫刻（木彫、乾漆、塑造 他）
	音楽芸術	* 仲嶺 伸吾	歌三線：安富祖流
		五郎部 俊朗	声楽
		高嶺 久枝 ※4	琉球舞踊
		比嘉 いずみ	琉球舞踊

*：研究指導教員

※1：平成 31 年 3 月退職予定

※2：平成 32 年 3 月退職予定

※3：平成 33 年 3 月退職予定

※4：平成 34 年 3 月退職予定

芸術表現研究領域担当教員候補者一覧（平成 30 年 8 月現在）

以下の教員は、入学者の研究内容に応じ、任期を定めて指導を担当する。

研究領域	研究室	教員	研究内容
芸術表現	造形芸術	渡名喜 はるみ※2	染（紅型研究を踏まえた表現）
		名護 朝和	染（型染：伝統的な紅型研究を踏まえた表現）
		真栄城 興茂 ※3	織（絣織等）
		花城 美弥子	織（沖縄の染織技術を用いた表現）
		田里 博 ※1	陶磁器
		山田 聡	陶磁器・立体造形（陶磁素材の研究および作品制作）
		水上 修 ※3	漆
		糸数 政次 ※2	漆
		當眞 茂	漆
		仲本 賢	視覚伝達デザイン（映像デザイン）
		赤嶺 雅	視覚伝達デザイン（グラフィックデザイン）
		笹原 浩造	視覚伝達デザイン（グラフィックデザイン）
		又吉 浩	視覚伝達デザイン（メディアデザイン）
		座波 嘉克 ※2	生活環境デザイン（生活デザイン）
		宮里 武志	生活環境デザイン（環境デザイン）
		田中 睦治 ※2	油画（平面表現・ミクストメディア・インスタレーション）
		知花 均	油画〔平面表現・版表現（凹版）〕
		高崎 賀朗	油画〔平面表現・版表現（孔版）〕
		香川 亮	日本画
		上條 文穂 ※1	彫刻（木彫、テラコッタ他）
		砂川 泰彦	彫刻（石彫 他）
	音楽芸術	山内 昌也	琉球古典音楽（歌三線：野村流）
		阿嘉 修	組踊
		片桐 仁美	声楽
		山内 昌也	声楽
		松田 奈緒美	声楽
		小杉 裕一	ピアノ
		小沢 麻由子	ピアノ
		庭野 隆之 ※2	チェロ
		岡田 光樹	ヴァイオリン
		阿部 雅人	ホルン
		倉橋 健	トランペット
		澤村 康恵	クラリネット
		近藤 春恵 ※4	作曲
		土井 智恵子	作曲

※1：平成 31 年 3 月退職予定

※2：平成 32 年 3 月退職予定

※3：平成 33 年 3 月退職予定

※4：平成 34 年 3 月退職予定

(切り取り線)

平成31年度 沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科 入学願書

(注) 1 受験番号

(ふりがな)		生 年 月 日	年 月 日 男・女
氏 名 (注) 2			
出身大学院	大学大学院 研究科 課程 専攻 年 月 修了・修了見込		
現 住 所	〒 TEL ()		
合 格 通 知 送 付 先	〒 TEL ()		
希 望 す る 研 究 分 野 (注) 3	比較英術学研究領域： 比較美学・芸術学 芸術批評史 民族音楽学研究領域： 音楽史 民族音楽学 民族芸能論 芸術表現研究領域： 造形美術（工芸・デザイン・絵画・彫刻） 音楽芸術（琉球古典音楽・琉球舞踊・組踊 声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器 作曲）		
語 学 の 選 択 科 目 (注) 4	英語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 中国語 日本古文・漢文 琉球語		

- (注) 1. 受験番号欄は記入しないこと。
2. 氏名は小石に記載されている通りの文字を正確に記入する。
3. 受験者は各研究分野から希望する一分野を○で囲む。
4. 受験者は指定された科目の中から選択する1科目を○で囲む。

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

平成31年度
写 真 票
沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

※受 験 番 号	
氏 名	
希 望 す る 研 究 分 野	
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4、横、3（上半身、無帽、正面向）の写真 をこの枠内に貼り付けること	

平成31年度
受 験 票
沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

※受 験 番 号	
氏 名	
希 望 す る 研 究 分 野	
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4、横、3（上半身、無帽、正面向）の写真 をこの枠内に貼り付けること	
※実技試験の集合時間	

※受験番号、実技試験の集合時間欄は記入しないこと。

履 歴 書

年	月	学歴
職歴		
業績		

*学暦欄には高校卒業以降の卒業・修了時のみを記入すること。
*業績欄には著書・論文・学会における高等発表等（入賞歴・リサイタル・コンクール・個展等）を記入する。

以上の記載事項は、間違いありません。

平成 年 月 日

本人氏名



研究計画書

	受験番号
1. 研究題目	
2. 研究の学術的背景	
この研究テーマに関連する国内・国外の研究動向、及びその中でのこの研究の研究的な位置づけ、志願者自身のこれまでの研究成果とこの研究テーマの着想に至った経緯について、文献等を適宜利用しつつ詳しく述べなさい。	

研究計画書（続き）

受験番号	
------	--

3. 研究の目的と展望

何をどこまで明らかにしようとするのか、研究の目的、方法について詳しく述べなさい。また、当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義について述べなさい。

注：ワープロで打った原稿を枠内に貼り付けても良い。

受験曲目提出用紙

演奏等の曲目一覧（演奏順に曲名、演奏所要時間を記入すること）

注：ワープロで打った原稿を枠内に貼り付けても良い。

（続く）

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

(切り取り線)

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

(切り取り線)

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

(切り取り線)

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

(切り取り線)

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

(切り取り線)

提出論文貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻
論文名	(全 冊のうち第 冊)		

(切り取り線)

提出ポートフォリオ貼付用紙

沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学研究科

受験番号・氏名	※	番	氏名
出身大学大学院名		大学大学院	研究科 課程 専攻

(切り取り線)

様式第25号

領 収 書		
領収書番号	第 号	調 定 番 号
納入義務者 住所・氏名		
会 計 年 度	平成30年度	
金 額	百	拾 万 千 百 拾 円
	¥ 3 0 0 0 0 0	
	一般会計歳入	
内 訳		
種 別	摘 要	金額
教育手数料	県立芸大入学考査料	¥30,000円
	芸術文化学研究科	
	普通為替証書	
	番号：	
上記の金額 平成 年 月 日 領収しました。		

- 1 納入義務者住所・氏名欄に（原符とも）志願者住所・氏名を記入すること。（太線枠内）
- 2 その他の欄は記入しないこと。
- 3 本領収書、領収書原符は銀行用紙ではありません。

様式第25号

領 収 書			原 符	
領収書番号	第 号	調 定 番 号	第 号	号
納入義務者 住所・氏名				
会 計 年 度	平成30年度		一般会計歳入	
金 額	百	拾 万 千 百 拾 円		
	¥ 3 0 0 0 0 0			
	内 訳			
種 別	摘 要	金額		
教育手数料	県立芸大入学考査料	¥30,000円		
	芸術文化学研究科			
	普通為替証書			
	番号：			
上記の金額 平成 年 月 日 領収済印 払込書により平成 年 月 日 指定（指定代理、収納代理）金融機関				

(切り離さないこと)

沖縄県立芸術大学周辺略図



